明科いいまち通信

明科いいまちつくろうかい!!
回覧
編集・発行

No. 57

安曇野市明科中川手６８２４番地１
明科支所：☎62-3001　/　明科公民館：☎62-4605

令和２年１月１６日 発行

今月の明科の事業所・団体紹介

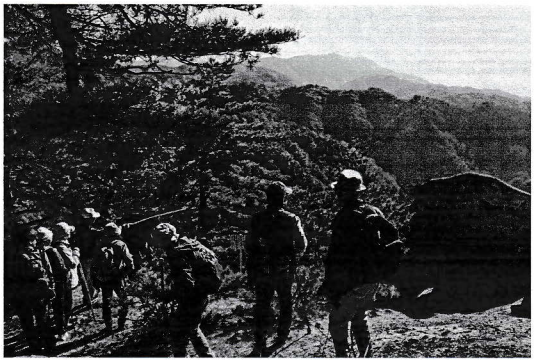
今回は **潮沢ロマンの会** です

潮沢ロマンの会代表
寳　喜吉

【潮沢ロマンの会】の歩み

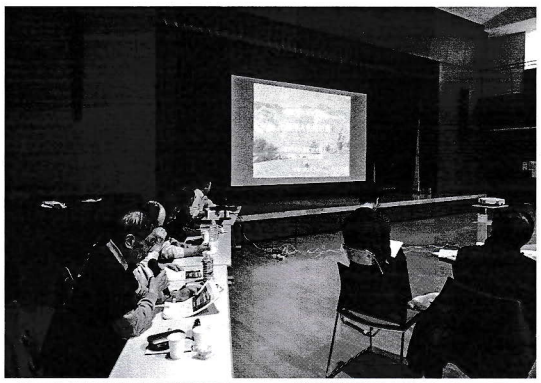
「村から町、そして市への合併。地域の詳しい歩みは時を経て徐々に忘れ去られていく。今まとめないと若い人に継承できない。」

平成22年4月、東川手の行政や産業・文化・教育等の歴史を記録に残そうとの元明科町長の小林一富さんの呼びかけに、東川手地区の歴史愛好者等6名が潮公民館に集まり「東川手歴史の会」を発足させ活動を始めたものの高齢な事もあり、24年3月、会の活動は滞った。その頃、等々力秀和さんより、安曇野市環境行動計画の「歩いて楽しいまちづくりプロジェクト」作成の紹介があり、これに参加し、安曇野の景観まちづくりや歴史文化、暮らし等を一緒に学んだ。



岩州公園ウォーキングイベント

25年3月にプロジェクトの案がまとまり、同年、各地域の区長会への説明、取り組み周知の散策行事を経て、市内のモデルとなる地区への応募を求めた結果、潮沢区がモデル地区となった。潮沢区での取り組みの第一歩は、①廃線敷と周辺集落のみちを活用した里山めぐりのコースづくり、②廃線敷沿線のケヤキの森づくり、③岩州公園の活用の3点を目標とした。そして、27年8月、潮沢ロマンの会を3名で発足、月1回集まり、資料収集、聞き取り現地調査等を開始した。



明科公民館での明科魅力再発見講座の様子

歩いて楽しいまちづくりプロジェクトの皆さんと5年間にわたり作成したのが「廃線敷にD51が走った時代」「明科岩州山善光寺裏街道をゆく」「潮沢名九鬼の平家にまつわる物語」「モデル潮沢の紹介DVD」、そして唐沢良英氏作成の「潮沢柏尾の魅力御嶽社」。実際に岩州山、物見岩、名九鬼、二見岩等々広い地域を廻り、改めて潮沢の歴史文化の深さに気づく事ができた。この事業の成果を元に、31年2月16日にNPO法人安曇野ふるさとづくり応援団と「安曇野ふるさと遺産」に関する協定を結んだ。認定されたのは「潮沢の交通遺産と東山集落の暮らし」である。

30年2月の会議をもってプロジェクトは解散したが、31年4月10日、潮沢ロマンの会は新たにプロジェクト19名の参加を得て再出発し活動を続けている。主な活動は明科公民館の魅力再発見講座、安曇野環境フェア、明科高校での講座、明北・明南小学校との廃線敷学習会の他、4年にわたり夏場に都会の子供と潮沢盆踊りでの交流会や、「ふるさと留学わんぱくキャンプ」を通した歴史文化の学習会等を行ってきた。さらに潮沢地区社協では我が郷土潮沢の歴史講座も始めた。

ふるさと留学わんぱくキャンプの記録

修験者や山伏、山城等、研究課題も沢山あるが、潮沢に関わる資料・写真等ありましたらご協力をお願いしたい。